

平成31年度 京都府立宮津高等学校伊根分校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン） （計画段階）

平成31年 4月23日

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>智力、人間性、体力が調和した生徒の育成をめざす。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒一人一人が安心して楽しく過ごせるクラス・学校作りを行う。 2 すべての生徒に基礎学力を定着させるため、授業のユニバーサルデザイン化を推進する。 3 関係専門機関との連携を強化し、多様な生徒に応じた支援を行う。 4 生徒一人一人の能力・適性を把握し、系統的な進路指導を行い希望進路の実現を図る。 5 人間的な触れあいを密にしたきめ細かな指導により、心豊かな人間性を育てる。 	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒及び保護者による学校評価アンケートにおいて、全項目の評価のうち80.5%が肯定的であり満足度が高い。 2 特別な支援を要する生徒に関する支援会議や教職員研修を計11回実施することができた。また、スクールカウンセラーとの情報共有や共通理解も適切に行われた。課題のある生徒に対して迅速に対応する事ができた。 3 4年生で取り組んでいる勤労体験学習10ヶ月という長期間の取組であるが、全員最後までやり遂げることができた。 4 4年生全員が、希望進路を実現できた。 <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒による学校評価アンケートにおいて、生徒自身の道徳性に関する評価が低下した。学校生活において規律を守る意識を育む必要がある。 2 保護者による学校評価アンケートにおいて、家庭との連携とPTA活動の評価が前年度と比較して低下した。様々な機会を設けて保護者との連携を一層深める必要がある。 3 新しい学習指導要領を見据え個に応じた指導法について一層研究を進める必要がある。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習への興味関心を引き出すための方策を研究し、暗記中心の学習でなく、思考力重視の深い学びを追求する 2 一人ひとりの生徒の能力や個性に応じた学習指導を展開し、「わかる楽しさ」を実感させる。 3 規範意識の醸成を図るために、生徒指導を充実させる。また、家庭と連携を図りながらスマホ依存の防止に向けた取組を推進する。 4 勤労体験学習を一層充実させると共に、アルバイトやインターンシップへの参加を積極的に促し、生徒の社会性の向上を図り、自己有用感を得させる。 5 進路実現に必要な基礎学力を身につけさせる取組や進路面談の充実を図る。 6 生徒の健康に関する意識向上を図り、健全な生活習慣を身につけさせる。 7 社会生活を営むために必要な力を育むため、ソーシャルスキルトレーニングや学校行事、体験学習を充実させる。 8 生徒面談を充実させると共に家庭や外部機関との連携を強化する。 9 新しい学習指導要領の先行実施に対応し、総合的な探究の時間を計画的に実施する。

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題								
組織・運営	<p>学校全体の教育活動を充実させ、生徒・保護者からの信頼を高める。</p>	<p>生徒が「わかる楽しさ」を感じられる授業を展開するとともに、学校行事や体験活動を通じて生徒の社会性を育み、充実感をもって生活できる学校を目指す。 [生徒・保護者による学校評価アンケートの全項目のA+Bの割合]</p> <table border="1" data-bbox="875 437 1435 520"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～80%</td> <td>79～60%</td> <td>60%以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～80%	79～60%	60%以下		
	A	B	C	D								
	90%以上	89～80%	79～60%	60%以下								
<p>一人ひとりの生徒の状況把握に努め、その情報を校内の教職員全体で共有するとともに、個に応じた指導を進める。</p>	<p>生徒に関する様々な情報を交流し、一人ひとりの生徒に必要な支援について協議する支援会議や教職員研修を充実させる。 [支援会議及び教職員研修の実施回数]</p> <table border="1" data-bbox="875 729 1435 812"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15回以上</td> <td>14～12回</td> <td>11～8回</td> <td>7回以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	15回以上	14～12回	11～8回	7回以下			
A	B	C	D									
15回以上	14～12回	11～8回	7回以下									
<p>保護者及び地域の関係諸機関との連携を強化する。</p>	<p>家庭訪問や家庭との連絡をきめ細かにいき、市役所や社会福祉関係機関との連携を深める。[保護者による学校評価アンケートにおける家庭との連携の項目のA+Bの割合]</p> <table border="1" data-bbox="875 1023 1435 1106"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>85%以上</td> <td>84～70%</td> <td>69～65%</td> <td>64%以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	85%以上	84～70%	69～65%	64%以下			
A	B	C	D									
85%以上	84～70%	69～65%	64%以下									
教務部	<p>授業規律を確立させ、学力の定着を図る</p>	<p>授業妨害等の行為があった場合は、教職員全体で適切に対応し、落ち着いた中で授業が受けられる環境をつくる。 [授業アンケート項目7～9のA評価の割合]</p> <table border="1" data-bbox="875 1315 1435 1398"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80%以上</td> <td>79～60%</td> <td>59～40%</td> <td>40%未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	80%以上	79～60%	59～40%	40%未満		
A	B	C	D									
80%以上	79～60%	59～40%	40%未満									

		<p>各教科において、授業のユニバーサルデザイン化を推進し、分かる授業を展開する。</p> <p>[授業アンケート項目 2～5 の A 評価の割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>79～60%</td> <td>59～40%</td> <td>40%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	79～60%	59～40%	40%未満		
A	B	C	D									
80%以上	79～60%	59～40%	40%未満									
	<p>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。</p>	<p>教員間の授業公開の活性化を図り、各教科において通常行われている学習活動の質を向上させる。</p> <p>[授業公開週間における一人あたりの授業見学回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>3回以上</td> <td>2回以上</td> <td>1回以上</td> <td>1回未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	3回以上	2回以上	1回以上	1回未満		
A	B	C	D									
3回以上	2回以上	1回以上	1回未満									
生徒指導部	<p>規範意識の醸成を図るために、生徒指導を充実させる。</p>	<p>伊根分校生として校則を守る意識を高める。(人権意識、道徳心の向上も含む) 具体的には生徒指導部が中心となり注意喚起を粘り強く継続的に行う。(お互い「ちゃんとしよう」という気持ちを持つ) また学年、分掌そして生徒会とも連携をして組織的な対応を行う。[独自のアンケートを実施：【項目】校則、人権意識、道徳心：意識向上度]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>79～70%</td> <td>69～60%</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	79～70%	69～60%	60%未満		
A	B	C	D									
80%以上	79～70%	69～60%	60%未満									
	<p>生徒会活動を活性化させる。</p>	<p>全ての生徒会活動において、生徒一人一人が目標を持ち安心して参加できるようにする。具体的には生徒会と生徒会担当が早い段階から計画的に計画・立案を行うことで、実施段階において生徒の声を反映されたものにする。</p> <p>[独自のアンケートを実施：【項目】生徒会活動：達成感]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>79～70%</td> <td>69～60%</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	79～70%	69～60%	60%未満		
A	B	C	D									
80%以上	79～70%	69～60%	60%未満									

	クラブ活動を充実させる。	一年間を通してクラブ活動を行うことにより活性化を促す [独自のアンケートを実施：【項目】クラブ活動：満足度] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>79～70%</td> <td>69～60%</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	79～70%	69～60%	60%未満		
A	B	C	D									
80%以上	79～70%	69～60%	60%未満									
進路指導部	生徒の進路意識を高め、社会性や職業観の育成、自己理解を促し、希望進路の実現に向けて指導及び支援を行う。	全員の希望進路実現を目指す。 [希望進路が実現した人数（4年生9人中）] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>9人</td> <td>8人</td> <td>7人</td> <td>6人以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	9人	8人	7人	6人以下		
		A	B	C	D							
9人	8人	7人	6人以下									
	アルバイトやインターンシップを積極的に促し、生徒の勤労観を高めるとともに社会性を育む。 [長期アルバイトに取り組んでいる生徒の割合] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～70%</td> <td>69～60%</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～70%	69～60%	60%未満			
A	B	C	D									
90%以上	89～70%	69～60%	60%未満									
保健部	健康安全に関する啓発活動を年間を通じておこなう。 ライフスタイル指導を継続し、基本的な生活習慣の確立を目指す。	保健だよりの発行により、年間を通じて身近な健康問題の啓発をおこなう。 [保健便りの発行回数] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>20回以上</td> <td>19～16回</td> <td>15～11回</td> <td>10回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	20回以上	19～16回	15～11回	10回以下		
	A	B	C	D								
20回以上	19～16回	15～11回	10回以下									
	保健委員会を活用し、健康安全に関する啓発活動をおこなう。	[保健委員会の開催回数] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>8回以上</td> <td>7回</td> <td>6回</td> <td>5回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	8回以上	7回	6回	5回以下		
A	B	C	D									
8回以上	7回	6回	5回以下									
第1学年	生徒の基礎学力の定着と社会人として必要な基礎的な能力の伸張を目指す。	基礎学習の充実、個々の生徒に応じた指導を行うことで、基礎学力の定着を図る。学ぶ楽しみを伝え、学習意欲を向上させる。また、HR活動等を通して、出席管理やあいさつ、提出物の提出状況などの管理をき										

		<p>め細かく行い、社会性を身に付けさせる。[生徒による学校評価アンケート3～6の項目のA+Bの割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～80%</td> <td>79～70%</td> <td>70%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～80%	79～70%	70%未満		
A	B	C	D									
90%以上	89～80%	79～70%	70%未満									
第2学年	生徒が自ら学ぶ姿勢を養う。	<p>日々の授業や課題に丁寧に取り組むよう指導することで、「わかった」、「できる」を実感させる。自分の学習活動に自信を持たせることで、自主的な学びへと進めさせる。[生徒による学校評価アンケート4～6の項目A+Bの割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～70%</td> <td>69～50%</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～70%	69～50%	50%未満		
	A	B	C	D								
90%以上	89～70%	69～50%	50%未満									
生徒の自己啓発を促す。	<p>学校行事や体験活動、アルバイトなどを通して、自分の良さを認め、自信を持たせる。また、社会の中での自分を意識させることで、卒業後の進路についても考えさせる。[生徒による学校評価アンケート1～3の項目A+Bの割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～70%</td> <td>69～50%</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～70%	69～50%	50%未満			
A	B	C	D									
90%以上	89～70%	69～50%	50%未満									
第3学年	生徒自身の主体的な行動を促す。	<p>生活や学習面において、自分自身が主体的に考え行動できる能力を育成する。また、進路実現等についても計画的に行動できるように努力させる。[生徒による学校評価アンケート6～9の項目A+Bの割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～75%</td> <td>74～60%</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～75%	74～60%	60%未満		
A	B	C	D									
90%以上	89～75%	74～60%	60%未満									
第4学年	卒業後の自立した生活を意識した進路指導を行い、全員の希望進	希望進路の実現に向けて、個人面談を実施するとともに、保護者との連携も深める。										

	路実現を目指す。	<p>[希望進路を実現した生徒数（4年生9名中）]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>9名</td> <td>8名</td> <td>7名</td> <td>6名以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	9名	8名	7名	6名以下		
A	B	C	D									
9名	8名	7名	6名以下									
国語科	自分の考えを持ち、表現する力を育む。	<p>身の回りの出来事から社会問題まで、生徒の状況に応じて、考えさせる機会を持つ。また、「書くこと」「話すこと・聞くこと」により、他者を意識しながら自分の考えを表現する力を育む。</p> <p>[書くこと、話す・聞くことの活動の年間平均回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>20回以上</td> <td>19～15回</td> <td>14～10回</td> <td>10回未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	20回以上	19～15回	14～10回	10回未満		
	A	B	C	D								
20回以上	19～15回	14～10回	10回未満									
	社会に出てから使える、漢字や語句の力を身に付けさせる。	<p>反復練習を行うことで、言語に関する基礎的な知識を身につけさせる。生徒自身に目標を設定させ、小テストに取り組みさせる。</p> <p>[授業評価アンケートにおける全項目のA+Bの割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～70%</td> <td>69～50%</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～70%	69～50%	50%未満		
A	B	C	D									
90%以上	89～70%	69～50%	50%未満									
地歴公民科	社会の諸事象に関する基本的な知識を習得する。	<p>課題や小テストを実施することで、世界の国名や歴史上の人物、法律などの基本的な知識の定着を図る。</p> <p>[年間5回の定期考査の平均点]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>70点以上</td> <td>69～60点</td> <td>59～50点</td> <td>50点未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	70点以上	69～60点	59～50点	50点未満		
	A	B	C	D								
70点以上	69～60点	59～50点	50点未満									
	主体的に社会に参画する態度を養う。	<p>視聴覚教材や図を効果的に用いることで、社会に対する関心や学習意欲を高める。</p> <p>[授業アンケートにおける全項目のA+Bの割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～75%</td> <td>74～60%</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～75%	74～60%	60%未満		
A	B	C	D									
90%以上	89～75%	74～60%	60%未満									

数学科	生徒個々の学力・能力を把握・分析し個々の実態に合わせ授業を展開し、興味・意欲・達成感を持たせる。また、進路に合わせ補習を実施する。	<p>生徒に学力を定着させる為、一人ひとりの能力や個性に応じた学習指導を展開し、「わかる楽しさ」を実感させ授業の充実を図る。</p> <p>[授業アンケートにおける全項目のA+Bの割合]</p> <table border="1" data-bbox="875 355 1435 437"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>95%以上</td> <td>94~85%</td> <td>84~70%</td> <td>70%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	95%以上	94~85%	84~70%	70%未満			
A	B	C	D										
95%以上	94~85%	84~70%	70%未満										
理科	自然の物事・現象に対する興味や関心を喚起し、科学を学ぶ意義や楽しさを実感させる。	<p>科学への学習意欲や関心を図るため、授業の理解度をレポートなどの提出物で確認する。</p> <p>[授業アンケートにおける全項目のA+Bの割合]</p> <table border="1" data-bbox="875 604 1435 686"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89~80%</td> <td>79~60%</td> <td>59%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89~80%	79~60%	59%以下			
A	B	C	D										
90%以上	89~80%	79~60%	59%以下										
保健体育科	自分自身の健康に関する意識を向上させ、生活習慣を見直させる。	<p>適度な運動、栄養、休養の観点から自分自身の生活習慣を見直し、改善していける意識や力を養う。</p> <p>[授業アンケートにおける当該項目のA+Bの割合]</p> <table border="1" data-bbox="875 857 1435 938"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89~75%</td> <td>74~60%</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89~75%	74~60%	60%未満			
A	B	C	D										
90%以上	89~75%	74~60%	60%未満										
芸術科 音楽	音楽を愛好する心情を育て、感性と表現力を高める。	<p>鑑賞と表現（音楽理論を含む）の調和の取れた充実を図り、授業における満足度を上げる。また、音楽の魅力に気づかせる授業展開を心がける。</p> <p>[授業アンケートにおける全項目のA+Bの割合]</p> <table border="1" data-bbox="875 1150 1435 1232"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>96%以上</td> <td>95~86%</td> <td>85~76%</td> <td>76%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	96%以上	95~86%	85~76%	76%未満			
A	B	C	D										
96%以上	95~86%	85~76%	76%未満										
美術	美術文化についての理解を深める。	<p>美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、</p>											

		<p>美術文化についての理解を深める。[授業アンケートにおける全項目のA+Bの割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>96%以上</td> <td>95～86%</td> <td>86～76%</td> <td>75%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	96%以上	95～86%	86～76%	75%以下			
A	B	C	D										
96%以上	95～86%	86～76%	75%以下										
書道	<p>書の伝統と文化についての理解を深める。</p>	<p>書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。[授業アンケートにおける全項目のA+Bの割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>96%以上</td> <td>95～86%</td> <td>85～76%</td> <td>75%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	96%以上	95～86%	85～76%	75%以下			
A	B	C	D										
96%以上	95～86%	85～76%	75%以下										
英語科	<p>英語学習の意義を理解し前向きに取り組む態度を育て、各学年で「～ができる」事柄を増やして学習の定着を図る。</p>	<p>わかる授業の工夫に努め、生徒の理解度を確認しながらコミュニケーション力を育て、授業の満足度を高める。[授業アンケートにおける項目1～6のA+Bの割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>96%以上</td> <td>95～85%</td> <td>84～70%</td> <td>69%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	96%以上	95～85%	84～70%	69%以下			
A	B	C	D										
96%以上	95～85%	84～70%	69%以下										
家庭科	<p>生活に必要な知識と技術を習得させ、主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。</p>	<p>授業のユニバーサルデザイン化の推進や実習・実験等を効果的に取り入れることで、生徒の学ぶ意欲を高めるとともに、基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。[授業アンケート項目9におけるAの割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～70%</td> <td>69～40%</td> <td>40%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～70%	69～40%	40%未満			
A	B	C	D										
90%以上	89～70%	69～40%	40%未満										
情報科	<p>パソコンや情報機具を活用し、いろいろなソフトが活用できる能力の育成に努める。また、情報モ</p>	<p>「社会と情報」の指導を通して、様々なアプリケーションソフトを活用する実習を行う。プレゼンテーション指導の充実を図り、メディアリテラシーを身に付</p>											

	ラルの育成やネット依存・スマホ依存などの情報社会の課題に対応できる力を養う。	<p>け情報社会の課題について対応する力を身に付けさせる。[授業アンケートの項目1～6におけるAの割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～80%</td> <td>79～70%</td> <td>70%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～80%	79～70%	70%未満			
A	B	C	D										
90%以上	89～80%	79～70%	70%未満										
商業科	検定試験に挑む学力を育成する。	<p>授業や放課後の学習指導の時間を通して、毎日パソコン入力資格・ビジネス文書検定・電卓検定などの各種検定に合格する力を育成する。[年度末の商業に関する検定試験の受験者に対する検定合格率]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～80%</td> <td>79～70%</td> <td>70%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～80%	79～70%	70%未満			
A	B	C	D										
90%以上	89～80%	79～70%	70%未満										
総合的な学習（探究）の時間	課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる力を育成する。	<p>地域や学校の特色に応じた探究課題を設定し、生徒が主体的に取り組むとともに、教員が、学習状況に応じた適切な指導を行う。[探究的な学習に対して肯定的評価をしている生徒の割合（独自アンケート）]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>79～60%</td> <td>59～40%</td> <td>40%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	79～60%	59～40%	40%未満			
A	B	C	D										
80%以上	79～60%	59～40%	40%未満										

学校関係者 評価委員会 による評価	
-------------------------	--

次年度に向けた改善の方向	
--------------	--